

スクール・セクハラ防止のためのセルフ・チェックリスト（教職員用）

スクール・セクハラは、児童・生徒に深い心の傷を与えるだけでなく、その後の成長にも大きな影響を与えます。教職員が児童生徒を不快にさせる性的な言動を行うことは、絶対にあってはなりません。

以下のチェックリストを使って、自分自身を振り返ってみましょう。

1	児童生徒や職員との会話の中で、その容ぼう、体型などを話題にしたり、性的なからかいや冗談を言ったりしたことがある。	(はい いいえ)
2	軽い気持ちで児童生徒の肩や髪、背中などにさわったり、必要以上に接近して身体を密着させたことがある。	(はい いいえ)
3	管理職等他の職員が知らない状況で、児童生徒と密室で二人きりになったことがある。	(はい いいえ)
4	管理職等の許可なく、個別に児童生徒とメール等(SNS)のやりとりや、電話をかけたことがある。	(はい いいえ)
5	放課後を利用した指導等において、遅くなった際に車で送り届けたことがある。	(はい いいえ)
6	児童生徒に対して、「男として…」「女らしく…」など性別によって決めつけた発言をしたことがある。	(はい いいえ)
7	職員や卒業生に「まだ結婚しないの?」「彼(彼女)はいないの?」などと聞いたことがある。	(はい いいえ)
8	1～7のような状況を他の教職員がしているのを見たこと、聞いたことがあるのに、誰にも伝えていない。	(はい いいえ)

「はい」の項目がある場合には、自分自身を振り返り、児童生徒を守るために教職員としてできることを再確認し、意識化・実践化に努めましょう。

※スクール・セクハラとは…

スクール・セクハラとは、学校の内外において、教職員が児童生徒等に性的な言動を行うこと。

〔性的な言動とは〕 性的な関心・欲求や社会的・文化的につくられた性差に基づく発言と行為